

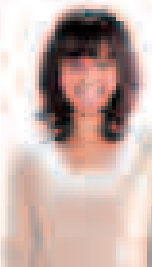
私たちの生命を育み、暮らしを潤す水。
 地域の文化や産業など、すべての源である水。
 水への関心を高め、美郷の水環境をもっと知っていただくため、
 「水の郷シンポジウム」を開催します。

開催
日時

10月27日(土)
 午後1時30分～午後4時

【会場】美郷町公民館「ホール」

- 13:30 ・水環境マイスター養成講座修了証書授与
 ・水辺写真コンクール表彰
- 14:00 基調講演「森と水と私」
 講師 あきた美の国大使 加藤 夏希 氏
- 15:10 水環境学習モデル校による取り組み発表
 ・仙南東小学校1年生、金沢小学校4年生
 ・美郷中学校 科学部



講師 加藤 夏希 氏 プロフィール

秋田県由利本荘市出身。昭和60年生まれ。
 2008年から秋田県立大学「キャンパス大使」、2010年から「由利本荘市観光大使」、同年11月には秋田県が新設した「あきた美の国大使」に委嘱され、ふるさと秋田を全国に発信する役を務める。水環境保全にも関心が高く、2011年にはNPO法人秋田パドラーズ主催の「雄物川河口クリーンアップ」に参加し、河口海岸線の清掃活動に取り組む。

☎ 町住民生活課 環境安全班 ☎0187(84)4903

水の郷 シンポジウム

学んでみませんか? 「産学官」

美郷町産学官

連携推進セミナー

開催日時●10月28日(日) 午後1時30分～

会 場●美郷町南ふれあい館2階

【第1部】講演会 13:30～15:20

- ・産学官連携による地域活性化
- ・秋田県立大学の産学官連携の取り組み
- ・産学官連携による実用化事例「スマート電子白杖」

【第2部】分科会 15:45～16:30

美郷町ゆかりの産学官連携事例と他研究シーズとの
 マッチング例の紹介

【第3部】交流会 16:45～18:45 (会費4,000円)

参加希望の方は、下記までお申し込みください。第2部または第3部だけの参加も可能です。定員になり次第、締め切ります。

☎ 町商工観光交流課 交流・商工班 ☎0187(84)4909

美郷町商工会事務局 ☎0187(84)0560

「産学官連携」とは?

企業(産)が、高度な専門知識を持つ大学等(学)や公設試験研究機関等(官)と連携して、新製品の開発や新事業を創出することです。最近では、企業に留まらず、個人事業者、農業法人など様々な分野との連携が進んでいます。

水の郷シンポジウム・美郷町産学官連携推進セミナーは美郷フェスタと同時開催です

水環境 マイスター 養成講座

第4回(最終回)の 受講生を募集しています

今回は、水の不思議な性質や特異性などを学びます。向学心あふれる皆様のご参加をお待ちしています。

テーマ：「水は不思議、水はおもしろい」
講師：秋田大学工学資源学部 地球資源学科
助教 網田和宏氏

開催日時●10月13日(土)
午後1時30分～4時30分
会場●美郷町中央ふれあい館(旧清水苑)
申込締切●10月10日(水)
☎ 町住民生活課 環境安全班
☎0187(84)4903

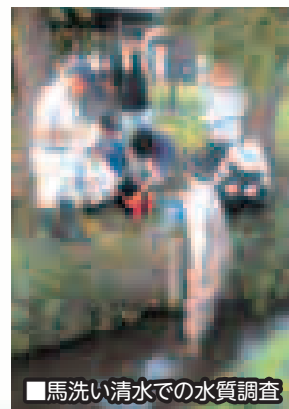
水のコンサート

美郷町と秋田大学との連携事業の一環として、「水のコンサート」を開催します。滝廉太郎作曲「花」など、水に関わる楽曲を合唱します。無料で参観できますので、ぜひご来場ください。

☎ 町教育委員会 教育総務課 ☎0187(84)4914

美郷町では、地域の水環境保全活動のリーダーとなる人材を育成するため、水環境マイスター養成講座を開催しています。

9月8日に第3回水環境マイスター養成講座が行われ、秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科近藤正准教授の指導のもと、馬洗い清水(六郷地区)と野際清水(千畑地区)でイバラトミヨの生息状況を調査しました。清水の周囲を歩いて周辺環境を確認し、水温・水質を計測してから、箱めがねを利用するなどしてイバラトミヨの生息状況を調べました。今



■馬洗い清水での水質調査



■イバラトミヨの生態について説明する近藤准教授(左から2人目)

回は、馬洗い清水でイバラトミヨを確認することは出来ませんが、野際清水からは産卵を間近に控えたメスのイバラトミヨが見つかり、貴重な姿を見ることができた参加者からは歓声が上がっていました。

開催日時●10月4日(木) ※美郷中学校合唱祭と同時開催です。
午前11時25分～午前11時55分

会場●美郷中学校体育館
出演者●秋田大学 爲我井壽一准教授
秋田大学学生25名

地域課題を学びました秋田県立大学公開講座

9月1日に名水市場湧太郎國之譽ホールで秋田県立大学公開講座が開催され、41名が参加しました。美郷町と秋田県立大学は、地域社会の発展や産業振興を目的として今年2月に連携協力協定を締結しています。公開講座

では、システム科学技術学部の御室哲志教授による「秋田県における電気自動車の受容性」と、生物資源科学部の金田吉弘教授による「肥料をかしこく使って健康な土を作る」の講義が行われ、受講者は地域課題解決の糸口となる話に熱心に耳を傾けていました。御室教授は電気自動車走行の実証試験結果を踏まえて「環境性能の高さなどが魅力だが、現段階では(一回の充電で得られる)航続可能距離についての割り切りが必要」と結び、金田教授は美郷町堆肥センターの堆肥「美郷の大地」の有効活用例を示した後で、手間暇をかけて生産される農産物の市場価格が低いことや、耕作放棄地の増加など農業を取り巻く諸問題を指摘しました。

